

岩見沢市内における「田んぼダム」の取組みについて

田んぼダムとは？ ： 農業者が水田で営農しながら行う流域治水の取組み

→水田に雨水を一時的に貯留して、地域や下流域の湛水被害のリスクを低減するための取組。降雨時における排水量のピークを低減し、水路や河川の水位上昇を抑えられる。

市内3地区、約700haで実施中。

- ・地域の共感、市街地への思いやりから広がる。
- ・水位調整用の板を交換することで、普段の農作業をしながら取り組める。
- ・農地や市街地を含んだ流域の治水に貢献。
- ・多面的機能支払交付金や土地基盤整備事業を活用して、導入検討する地区が多い。

特 徴

- ①「取組」であり「施設」でない
- ②水田に降った雨を貯留する取組
- ③作物の生産に影響を与えない範囲で行う取組



水位調整板の例（金子町）

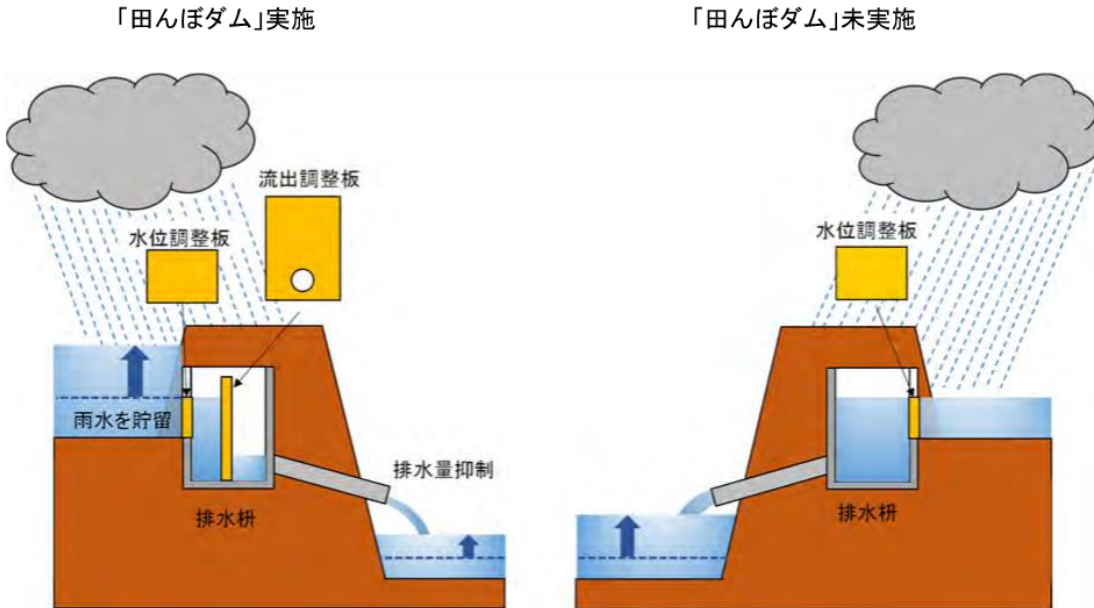


図5 「田んぼダム」を実施している水田の排水イメージ



写真1 「田んぼダム」を実施している水田の排水イメージ

R4.4 農林水産省農村振興局整備部「田んぼダム」の手引き より引用

